

行動から心情の変化を読む

図解 | 小説文読解の読み方

気持ちは、本文の言葉を根拠に考えよう

心情変化・情景描写・表現効果を、本文の根拠と結び付けて読み取ろう。

1 初め

顔を隠す → 指摘を受け入れにくい

2 きっかけ

美月も同じ所で苦しくなると知る

3 終わり

楽譜を寄せる → 自分から助けを求める

短い文章で確かめよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 合唱の練習で、奈央は隣の美月に声が小さいと言われた。奈央は楽譜を高く持ち上げ、美月の顔が見えないようにした。
- ② 休み時間、美月が楽譜を差し出した。息を吸う場所に、青い線が引いてある。「私もここで苦しくなるんだ」奈央は自分の楽譜を少し下げた。
- ③ 次の練習では、奈央は青い線のところで美月の息を聞いた。曲が終わると、自分から楽譜を寄せて、「次はここも教えて」と言った。

心情を読むときの三つの手がかり

会話：何を言ったか、言わなかったか。

行動・表情：何をしたか、前とどう変わったか。

情景：どんな場面で描かれ、人物の様子とどう響き合うか。

視点を確かめる

「私」「僕」が語る文章では、相手の気持ちが直接分かるとは限りません。語り手が見た事実と、そこから考えたことを分けてみましょう。

根拠をつないで説明する

例題 | 学習ポイント1ページの文章を使います

例題

奈央の美月への態度は、何をきっかけにどう変わりましたか。四十字以上六十字以内で説明しなさい。

答えに必要な内容を整理する

① 初め：楽譜で顔を隠し、指摘を受け入れにくい。
② きっかけ：美月も同じ所で苦しくなると知る。
③ 終わり：自分から楽譜を寄せ、教えてほしいと頼む。

解答例

美	月	も	同	じ	箇	所	で	苦	し	く	な	る	と	知	り	、	指	摘	を	20
避	け	て	い	た	態	度	か	ら	、	自	分	か	ら	教	え	て	も	ら	お	40
う	と	す	る	態	度	に	変	わ	っ	た	。									60

〔52字〕 字数だけでなく、必要な内容がそろっているか確かめよう。

ここに注意

「楽譜を下げたから、楽しくなった」と一つの動作だけで決めない。会話と前後の行動を合わせて読む。

読み直すときのチェック

- ☐ 問いが求めている人物・場面・内容に答えたか。
- ☐ 本文の言葉を根拠にし、想像だけで決めていないか。
- ☐ 「必ず」「全部」など、本文より強く言い切っていないか。
- ☐ 字数・抜き出し範囲・指定された言葉を守ったか。

字数指定では句読点・かぎカッコ・小さい仮名も一字と数えます。抜き出しは、問いで示した範囲と表記を守ります。